

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロニー児童デイサービスうま		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○送迎対応、家族への対応、(困りごと、悩み事、諸々の相談等)、児童に対する対応等、臨機応変に応じることができる。 ○日々のミーティングを重視し、報告、連絡、相談の徹底を行っている。	○コドモンアプリを活用して、送迎児対応、保護者への連絡周知、丁寧な説明、早急な対応を心がけている。 ○児童の課題、特性に応じた個別のチェックシートを作成しており、PDCAサイクルを基本に計画書を作成している。	○今後も職員の指揮を高め、児童に寄り添った支援を心がけていく。 ○専門性ある外部指導者等を取り入れていきたい。 ○まだ、至らない点があるため、改めて日々のミーティングでPDCAサイクルを基本とし、職員意識を高めていきたい。
2	○外気的な刺激を意識しながら、外出支援を多く取り入れ、児童生徒が学び、体験、実践、見聞する機会を設けている。 ○長期休業期間の給食提供がある。	○児童生徒特性や興味関心に応じた、活動の場やイベント、体験の場を設定している。 ○長期休業期間に給食提供があり、栄養管理、食育の点では充実している。	○外部機関との情報交換なども積極的に行っていきたい。 ○食育に関しての学習会等も実施できたらと考えている。
3	○日々の活動プログラムの充実、実践を通したルール理解、マナーやコミュニケーション力を育み、成功体験場を設けている。	○各活動を振り返りや新たな活動の提案など、主となる職員を配置して話し合いの場を持って進めている。	○さらなる刺激を求め、子供たちが満足、充実するような活動プログラムを提供していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○例年夏に他法人との交流する機会は設けているが、放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子供と活動する機会が少ない。	○コロナ禍以前は、児童館利用、交流等の機会があったが、ここ最近は感染症蔓延防止の為、自粛していた。	○学童や児童館などの情報収集をして、交流の場を積極的に進めていけたらと考えている。
2	○家族の対応力向上といった観点からペアレントトレーニングや家族等の参加ができる研修の機会が少なく実施が難しい。	○現状では、なかなか研修やトレーニングの時間や場、タイミングが困難であり、実施するに至っておらず、うるま市や外部からの研修情報等呼びかけをしている段階である。	○本事業所でもペアトレ、研修の機会、外部講師の依頼等を積極的に行っていけたらと思う。
3	○自立支援協議会には参加、地域の児童発達センターとの連携に関しては消極的である。	○うるま市連絡会に参加して、情報交流会や研修の場を持たせていただいている。市内のフェスタへの参加している。 ○自立支援協議会や児童発達センターの機能としての立ち位置、役割の理解に至っていない。	○今年度、自立支援発達センターの研修に参加させていただき助言をいただいた。まだまだ消極的なのでスーパーバイスの助言等を学んでいきたい。